

令和7年度 宮崎県立宮崎東高等学校 学校評価					
教育目標	自ら求めて学び、すすんで社会に貢献する、人間性豊かな生徒の育成をめざす			学校関係者評価のポイント	
経営方針	豊かな人間性を有し、心身ともに健康で自信と誇りを持って社会生活を送り、地域社会に貢献できる生徒を育てる (1)多様な学びの場の提供 (2)将来を展望した在り方・生き方の確立 (3)基礎学力の定着と授業力の向上			・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等を基にした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。	
本年度の重点目標	(1)責任を果たす学校 (2)個性の溢れる学校 (3)信頼される学校 (4)開かれた学校 (5)元気のでる学校			※ 自己評価、学校関係者評価とも、A～Dの4段階評価とする。	
重点目標	評価項目	具体的指標	自己評価		学校関係者評価
			成果と課題・改善策	評価・具体的意見	
(1)責任を果たす学校	①知・徳・体の力を確実に修得させる。	○基礎学力テストの実施 ○単位習得率の向上 夜間部 90%以上、昼間部 90%以上 通信制 65%以上	【夜間部】本校職員による自主作成による実態を考慮した基礎学力テスト(国数英)を4月に実施し、特に新入学生の学力把握に役立った。後期に入り欠課時数が多い生徒が増えたのは気になる傾向である。数学・英語では、一部で習熟度編成クラスで学び直しを行った。 【昼間部】入学前のテスト実施・ベシックでマナトレ確認テスト実施。単位修得率90%前後を維持。このまま継続していく。 【通信制】担任や教科担当者の連絡を密にしていた結果、今年度は目標を達成することができた。問題行動への対応は、組織的に行うことができた。新入生及び定通大会出場生徒を対象とした健康診断を実施した。 【全体】授業を受ける際のルールを生徒・職員で定期的に確認し、落ち着いた学習環境を今後も整えていく。魅力ある授業、力のつく授業、学び直しのしっかりできる授業など工夫を重ねていく。	B	B
	②進路目標を達成させる。	○進路目標の達成 夜間部 90%、昼間部 90% 通信制 70% ○卒業資格の達成 夜間部 90%、昼間部 90%	単位修得率 夜間部 94.6% 昼間部 92.2% 通信制 67.3% 【夜間部】夜間部の進路目標達成率は90%で、3年次より進路意識の高い卒業年次が多かった。11名が卒業し、2名が未履修で次年度も学校に残る。生徒の主体性を尊重しつつ、生徒の視野を広げる進路指導を行っていきたい。 【昼間部】3学年団の指導の成果もあり、進路実現に対する意識が高い生徒が多かった。就職に関して、複数回受験する生徒もいたが、就職支援コーディネータとの連携により、生徒の実情に合った求人票の提供を受けることができ、進路実現につながった生徒もいた。多様な進路に対応するために、教員側もアンテナを高くして、情報を集めていきたい。 【通信制】進路目標の達成:約65% ・これから大学受験や就職試験に臨む生徒もおり、現時点では目標を達成できていないが、今後達成できるものと考えている。就職支援エリアコーディネーターへの積極的相談や「進路ガイダンス」の実施などにより、就職内定者、共通テスト受験者ともに、昨年よりもかなり増加した。しかし、その一方で、卒業後しばらくはゆっくり過ごしたい等の理由で進路が決定していない生徒もいる。 進路目標の達成率 夜間部 90.9% 昼間部 76.6% 通信制 65.0% 卒業資格の達成率 夜間部 91.6% 昼間部 97.8%		
	③一人ひとりのよさを認める。	○学校生活アンケートの実施 ○部活動の活性化	【夜間部】全員面談(前期)やリクエスト面談(後期)といった全生徒を対象にした面談を行っており、生徒理解に努めている。6月には支援学校より講師を招き、合理的配慮に関する職員研修を実施した。 【昼間部】年2回「困っていることアンケート」を実施し、学習面・生活面での困りや、授業やテスト等で改善できることは全職員で情報共有して改善している。 【通信制】年2回、いじめアンケート、困ったことアンケートを実施した。自転車ヘルメット着用に関するアンケートや薬物乱用防止に関するアンケートを行ったが、活動生の全員に実施できなかった。部活動に体育23名、文化20名が加入。男子バレーボール部とバドミントン部(男子個人)が全国大会に出場した。放送部は九州大会に出場した。		
(2)個性の溢れる学校	②個性を伸ばし、自己肯定感を高める。	○学校行事参加率の向上 夜間部 文95%、体90% 昼間部 文90%、体90% 通信制 文15%、体20%	【夜間部】学校行事への参加率はいずれも90%を超え、11月の生徒会選挙には7名の定員に対し16名が立候補するなどやる気のある生徒が増えている。 【昼間部】生徒会を中心に生徒のアイデアを取り入れて、行事を行っている。学校行事参加率は、文化の部で97.5%、体育の部で96.3%に達した。文化の部では、昨年度と同様に多数の個人発表が行われた。部活動では、男子バスケットボール部と女子バレーボール部が全国大会に出場した。その他の部活動もさまざまな競技大会で活躍し、成果を上げた。 【通信制】生徒会行事を滞りなく企画実施できた。新入生歓迎遠足とスポーツフェスティバルは、参加率が前年より増加した。東昇祭は、前年より参加率が6%弱減少した。 学校行事参加率 夜間部 文化95.1% 体育91.9% 昼間部 文化96.9% 体育95.1% 通信制 新入生歓迎遠足33.8% 体育祭 15.8% 文化祭 11.5%	B	A
	③個に応じた学びの環境整備	○ICT活用による学びの補償 教材開発や講演等の充実 ○教育相談体制の充実(通級含む)	【夜間部】総合的な探究の時間において、生徒の成果物の評価に生成AIによる評価も取り入れ、客観性を持たせる工夫をした。 【昼間部】すべての教科でタブレット使用・検索自由・授業のふり返し実施。教育相談体制としては、ハートサポーター(HS)・スクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)と連携し、場合によっては児相相談所等の関係機関との連携を図っている。Google Classroomのアンケート機能を利用し、HS・SC・SSWとの面談希望を生徒からとっている。 【通信制】Google Classroomの活用が定着し、担任からの丁寧な情報発信が見られる。また、Meetを使用して面談を行ったり、質問の対応に利用するなど、用途も多岐にわたってきた。協力のWifi回線を活用した授業を行えるようになり、より生徒が理解しやすいスクリーニングが行えるようになってきている。デジタル採点システム「百問繚乱」を利用したテスト業務を多くの職員が利用できるようになった。また、それらの処理を校務支援システムと繋げるためのマクロの開発なども随時行い、利便性の向上に務めてきた。ラボ室の整備が一通り完了し、動画作成などに利用されている。今後は学習活動にも利用していきたい。臨床心理士による定期的な教育相談を実施した。		
					・自己肯定感の向上や生徒理解のために面談や各種アンケート等の実施、専門機関との連携等に組織的・精力的な取組がなされている。また、学校行事や生徒会活動、部活動の全国大会出場など顕著な成果が見られる。高く評価したい。 ・今後とも多様な学びのニーズの受皿になるとともに生徒の「自己実現」のために、一人ひとりのよさを認め、これからの社会を生きる共通科目(国語、数学、英語など)の高校時代に身に付けておくべき基礎学力の向上・定着やキャリア教育の推進・充実に粘り強く組織的な取組をお願いしたい。 ・全ての生徒に「自信と誇り」を持たせる教育を展開して頂きたい。 ・通信制に対して。部活動にそれぞれ20人以上、学校行事に15%程度参加しているが、こうした社会参加の機会をさらに増やして欲しい。 ・各部活動の活躍や学校行事への参加率には素晴らしいものがある。 ・ICT活用の充実がなされ、情報化の推進がなされている。 ・アンケートや教育相談などによって生徒の困り感に寄り添うことと、学校生活への不安を軽減することが、学校行事などへの参加につながっているように見受けられる。 ・生徒ひとり一人の個性をお互いが認め合い高めあえるようデジタル技術を積極的に取り入れることは、高く評価でき、今後も東高校生らしさを伸ばしていきたい。 ・昼間部の教育相談体制の中で、児童相談所など関係機関との連携とあるが、どのような内容があるのか。 ・通信制において、オンラインなどを活用した情報発信、面談、スクリーニングなどで、得意なところ問題点など詳しく知りたい。

(3)信頼される学校	①服務規律の遵守に努める。	○全職員に対する面談等の実施と各種取り組み コンプライアンスに係る報告・相談 コンプライアンスチェックシートの活用	【全体】コンプライアンス推進プログラムに掲げた5つの重点事項について周知し、取組確認を行った。2課程2部合同でコンプライアンス研修会を実施した。講義形式ではなく班ごとの話し合い形式にしたことにより、活発な意見交換が行われた。コンプライアンス推進委員会を予定通り実施した。アンケート結果から本校の現状を確認し、今後注意しなければならない点について認識を共有することができた。交通関係でひやりとした場面が複数件あったので、時間・心に余裕を持って運転すること、交通ルール・マナーを守ることを今後職員連絡会などを通して注意喚起していく。	B	B	・服務規律の遵守や危機管理意識の向上のために、学校全体で様々な取り組みを展開されていることに敬意を表します。今後とも職員の共通理解に基づく組織的指導体制の確立に尚一層努めて頂きたい。 ・日々の朝礼や職員研修等を通して、教育公務員としての自覚を持ち、県民の期待を裏切ることがないよう服務規律の遵守に向けた取り組みが、意図的・継続的に行われていることは高く評価できる。 ・コンプライアンス遵守に向けて具体的な取組が見られる。 ・防災や救命に関する実践的な取組がなされている。 ・全職員に対するコンプライアンス推進プログラム、及び交通安全意識向上や不審者の侵入防止など、繰り返し行うことによるのみ安全性を高めることができることについて緊張感をもって継続実施していただきたい。 ・防災や救命などの意識向上は生徒の安心感にもつながり、社会的な信頼を得ていると評価する。
	②危機管理意識を向上させる。	○各種職員研修等の取り組み 危機管理マニュアルの見直し 防災訓練・AED等研修の実施 情報セキュリティ	【夜間部】職員研修は、生徒理解研修、AIIに関する研修、人権に関する研修などを行った。また、防災訓練は4月に実施することで、全生徒全職員に避難経路を確認できた。情報セキュリティに関しては、具体的な発生事例を共有し意識向上に努めた。 【昼間部】防災訓練においては、防災研修に参加した生徒たちの報告を行い、今年度も生徒に共助の必要性を伝えることができた。避難所における簡易トイレの組み立てを実演し、全生徒にどのようなものかを見てもらったり、代表生徒に中に入ってもらったりした。感染症等発生時の速やかな対応(報・連・相)ができた。学校医を交えた学校保健委員会(衛生委員会と同時開催)を開催し、生徒の健康の問題等について2課程2部の情報共有と生徒保護者への共通理解を深めた。 【通信制】救急救命のための職員研修(エビベン・AED)を実施した。危機管理マニュアルの見直しは、2月に行う予定である。生徒・職員による防災訓練(地震)を計画どおり実施した。今後は協力校での避難訓練も計画したい。 【全体】不審者の侵入等防止のため、4台の監視カメラを設置する予定。安全・安心な学校のためにも、2課程2部で危機管理マニュアルの見直しや修正、職員への周知をしていく。			
(4)開かれた学校	①地域や保護者の期待に応える。	○指導力向上の取組 研究授業・教員相互の授業公開の実施 生徒による授業評価や振り返り 保護者への授業公開の実施 ○積極的な情報発信	【夜間部】生徒への授業アンケートは例年通り年2回実施して、職員の授業改善に生かした。総合的な探究の時間に関連した授業公開は年3回行っており、県内外より多くの学校が視察に来られた。長年の取組みが、令和7年度文部科学大臣優秀教職員組織部門で「社会に開かれた教育実践奨励賞」を受賞した。11月の夜祭(文化祭・体育祭)に、2日間で保護者等が84名来校した。 【昼間部】PTA総会を5月から4月へ日程を変更し、授業公開を実施。入学直後でもあり、特に1年生の保護者の参加が多い傾向。6月3日～6日PTA参観授業週間として全ての授業を公開し、保護者の参加は約40名であった。PTA新聞を年2回発行し、情報発信に務めた。毎月の「ほけんだより」の発信で、保健情報のお知らせや感染症予防の呼びかけができた。11月に中学校教員対象の説明会を行った。定時制のシステム等を多くの先生に知ってもらうために、来年度は9月開催を予定している。 【通信制】ホームページを用いた情報発信を各部で随時行っている。	B	A	・開かれた学校のために、学校全体で精力的な取組が顕著である。高く評価できる。今後とも生徒や保護者、地域の期待に応えるために、学校全体の指導力向上や教育の質向上に努めて頂きたい。 ・夜間部の「社会に開かれた教育実践奨励賞」受賞に拍手。これまでの真摯な取組を称えたい。 ・文科省表彰は、これまでの取組の成果が認められたもので、素晴らしい実績である。 ・夜間部が組織として表彰されたことは誇らしく、今後も更に継続することを期待する。 ・中学校教員対象の説明会など東高校の特性を十分理解してもらい取り組みをさらにしてもらいたい。私立高校もさまざまな生徒を受け入れ、情報発信しているところもあり、情報交換も有効と思われる。 ・地域や保護者の期待に応えるために、各課程での工夫がみられる。保護者の来校などは生徒の自信にもつながる。 ・中学校教員対象の説明会やそれを早める予定など、学校の個性を広く伝えることは今後特に重要な取り組みである。 ・通信制では「HPを用いた情報発信を各部で随時行っている」とあるが、その発信内容等の学校のチェック体制は大丈夫ですか？
	②評価結果の公表により、説明責任を果たす。	○学校評価の実施と活用 評価内容の公表と連携	【夜間部】学校行事では生徒と一体となって職員が盛り上げ、信頼関係が構築できている。職員が少数数のため意思疎通がしやすく、緊急事態に関して迅速に組織的に対応できた。中堅・若手の多くの先生方が、他校の指導教諭などの授業参観に積極的に参加できた。 【昼間部】SOSの出し方における教育の推進校として、月に2回SHRの時間にソーシャルスキルトレーニングを実施した。次年度も実施していく予定である。また、9月には、教員のためのゲートキーパー研修を実施した。生徒の行動目標ひがしスタンダードを作成し、生徒自らが主体的に行動し、活躍する場が増えた。衛生委員会開催、研修会の実施(2講座「日常生活に取り入れやすいストレッチ」「食生活の工夫」) 【通信制】コミュニケーションが活発な職場環境を目指したことにより、心理的安全性が高まり、情報もオープンに共有できた。信友会については、評議員会(5月)、支部長会(9月・2月)を実施し、運営を支えることができた。衛生委員会主催で、職員研修(ストレッチ・栄養)を実施した。			
(5)元気のでる学校	①連携を密にし、「活力あふれる」職場環境を構築する。	○校務分掌を中心とした組織的な体制づくりの推進(報告・相談等) ○福利厚生事業の充実	【夜間部】学校行事では生徒と一体となって職員が盛り上げ、信頼関係が構築できている。職員が少数数のため意思疎通がしやすく、緊急事態に関して迅速に組織的に対応できた。中堅・若手の多くの先生方が、他校の指導教諭などの授業参観に積極的に参加できた。 【昼間部】SOSの出し方における教育の推進校として、月に2回SHRの時間にソーシャルスキルトレーニングを実施した。次年度も実施していく予定である。また、9月には、教員のためのゲートキーパー研修を実施した。生徒の行動目標ひがしスタンダードを作成し、生徒自らが主体的に行動し、活躍する場が増えた。衛生委員会開催、研修会の実施(2講座「日常生活に取り入れやすいストレッチ」「食生活の工夫」) 【通信制】コミュニケーションが活発な職場環境を目指したことにより、心理的安全性が高まり、情報もオープンに共有できた。信友会については、評議員会(5月)、支部長会(9月・2月)を実施し、運営を支えることができた。衛生委員会主催で、職員研修(ストレッチ・栄養)を実施した。	A	A	・校務分掌を中心とした組織的な体制づくりの推進に積極的に取り組まれている。高く評価したい。 ・職場の生命線である「和」があることが感じ取れる。 ・他校への授業参観や研修などを通して心理的安全性が高まり、情報もオープンに共有できたことは高く評価できる。 ・職場環境を整え、教職員の方々の充実度や向上心が高まることは、生徒への余裕ある姿勢に現れ、元気の出る学校が実現できる。 ・ひがしスタンダード2025の実践における自己評価もいずれ共有していただきたい。 ・昼間部の「生徒の行動目標ひがしスタンダード」とは何か。詳細が知りたい。 ・昼間部のソーシャルスキルトレーニングを実施しての、結果などが知りたい。 ・生徒の行動目標「ひがしスタンダード」についても知りたい。
	②各種研修等により、資質の向上に努める。	○各種研修会への参加 県教育研修センター等主催研修	【夜間部】学校行事では生徒と一体となって職員が盛り上げ、信頼関係が構築できている。職員が少数数のため意思疎通がしやすく、緊急事態に関して迅速に組織的に対応できた。中堅・若手の多くの先生方が、他校の指導教諭などの授業参観に積極的に参加できた。 【昼間部】SOSの出し方における教育の推進校として、月に2回SHRの時間にソーシャルスキルトレーニングを実施した。次年度も実施していく予定である。また、9月には、教員のためのゲートキーパー研修を実施した。生徒の行動目標ひがしスタンダードを作成し、生徒自らが主体的に行動し、活躍する場が増えた。衛生委員会開催、研修会の実施(2講座「日常生活に取り入れやすいストレッチ」「食生活の工夫」) 【通信制】コミュニケーションが活発な職場環境を目指したことにより、心理的安全性が高まり、情報もオープンに共有できた。信友会については、評議員会(5月)、支部長会(9月・2月)を実施し、運営を支えることができた。衛生委員会主催で、職員研修(ストレッチ・栄養)を実施した。			
					その他	・今の時代に即した「宮崎東高校の情報発信」をリアルに熱くお願いしたい。また、その体制づくりに尽力して頂きたい。 ・大変名誉ある賞を受けたことは、驚きとともに相当な評価だったと腑に落ちました。さまざまな悩みや困り感のある生徒たちにとって、希望となる県立高校としてこれからも創意工夫されますよう、応援しております。 ・職場における「働き方改革」は進んでいるか気になる。 ・令和8年度の入学志願状況(定時制課程:夜間部、昼間部、通信制課程)を教えてください。